

農業と食を通じた`元気、づくり

組合員とJAのコミュニティ誌わい！わい！ひまわり vol.439

Wai!Wai! Himawari

特集 若手農家の声を聴く



11

NOVEMBER
2026



 **JAひまわり**

役員メッセージ



常務理事
(信用共済事業担当)
大橋 康樹



組合員・利用者から選ばれるJAをめざして

金融庁は、「顧客本位の業務運営に関する原則」を提示し、金融機関が顧客本位の良質な金融商品・サービスの提供を競い合い、顧客にとって最善の提案を行うことを通じて、国民の「貯蓄から投資へ」の動きを後押しすることを期待しています。

2024年1月よりNISA制度の抜本的な拡充が行われました。その流れを受け、当JAでは2024年4月、本店にファイナンシャルアドバイザーセンター（FAセンター）を新設しました。また、今年度9月までの1年間にわたり、農林中央金庫による資産形成サポートプログラムを導入し、職員の資産運用に対する相談力・提案力の向上に努めてまいりました。

投資と聞くと難しく感じるかもしれませんが、当JAでは初めての方にも安心してご利用いただけるよう、わかりやすく丁寧なご案内に努めています。利用者の方からは、「周りにやっている人が多くて気になっていた。お金のことなので、なかなか相談できなかったけれど、JAの方が話を聞く機会を作ってくれて本当に良かった」とのお声もいただいています。

ぜひこの機会に、FAセンターやお近くの支店までお気軽にお声がけください。組合員・利用者の皆さまのライフプランの実現に向けて、ニーズに寄り添ったご提案をさせていただきます。



Wai!Wai! Himawari

組合員とJAのコミュニティ誌 わい!わい!ひまわり

vol.439
2026 NOVEMBER

11

- 2 役員メッセージ
- 2 ひまわりキッズ
- 3 特集 若手農家の声を聴く
- 6 ひまわりダイジェスト
- 8 農 -Farmers-
- 9 店舗とともに
- 10 げんきの源
- 11 暮らしサブリparas
- 12 園 -Gardening-
- 13 家庭菜園
- 14 SDGsな女性部
- 15 To the future -未来へ-
- 16 ひまわり掲示板
- 18 MEMBER'S VOICE
- 18 地域農業応援店のWA!
- 19 理事会報告
- 20 お出かけまりくん



JAひまわりキャラクター まりくん



今月のひまわりキッズ HIMAWARI KIDS

としほ
堀内 俊穂くん (6歳)
ししん
梓愼くん (4歳)

堀内 俊博さん、琴音さんのお子さん
(長沢町)

Q.好きな食べ物は何ですか？

A. 俊穂くん：チョコ 梓愼くん：ギョウザ、みかん

Q.好きな遊びは何ですか？

A. 俊穂くん：レゴ
梓愼くん：レゴ、おりがみ、ウルトラマン

Q.ご両親からのメッセージ

これからも笑顔いっぱい元気になってね。



特集

若手農家の声を聴く

10年後も、この地域で農業を続けていくために。

気候の変化や資材価格の高騰、経営や雇用の課題など、農業を取り巻く環境は大きく変わりつつあります。

そんな中、これからの地域農業を担う若手農家は、今、何を感じ、どんな未来を思い描いているのでしょうか。

今回の特集では、就農年数も栽培する品目も異なる3人の若手農家に、今の農業やこれからのこと、JAとの関わりについて、じっくりと話を聴きました。



豊川市で農業に取り組む3人の若手農家に話を伺いました。就農のきっかけや現在の課題、そしてこれからのこと。栽培する品目も就農年数も異なる3人ですが、それぞれの立場で農業と向き合っています。今回は、その声を通して、農家が農家であり続けるための未来と、地域農業を支えるつながりについて考えます。



安定した経営基盤をつくる

親元就農でミニトマト栽培を始めて3年目。新たに施設と設備を整え、28アールで栽培に取り組んでいます。規模を広げた一方で、設備投資や親世代のハウス修繕など、経営面での責任も大きくなりました。

近年は資材価格の高騰や異常気象の影響も大きく、安定した収益を確保することの難

しさを感じています。ミニト

マトは大きな産地との競争もあるため、豊川市が産地として評価されるには品質が欠かせません。共選出荷だからこそ、自分の仕事が生産地全体の評価にもつながるという思いで、日々の管理に向き合っています。

今、何より大切にしているのは、安定した収益を確保し、農業を続けられる経営基盤をつくること。JAには、資材価格への対応や新しい資材・技術の情報提供など、安定した経営を支える支援を期待しています。

ミニトマト部会 酒井 一憲さん 就農3年目

- 安定した収益の確保
- 部会の品質を下げない(共選出荷)
- 農業経営の支援を



いちご部会 鈴木 翔太さん 就農5年目

- 労務管理や職場環境を考える
- 農業の魅力を伝えたい
- 地域と農業を結び場づくりを



地域との つながりを、 農業の力に

イチゴ農家として就農して5年目。高温や長雨、台風など、年々変化する気象条件に向き合いながら、より良いイチゴをつくるための工夫を重ねています。特に育苗期の管理は難しさを増しており、今後は育苗への投資も必要になると考えています。

出荷量が増えるにつれて、栽培だけではなく経営面の視点も欠かせなくなりました。資材高騰への対応に加え、雇用を進めるなら、働く環境や労務管理、指導・育成、福利厚生なども考えなければなりません。「競合は「一般企業」という意識を持ち、農業の現場も選ばれる職場である必要性を感じています。」

一方で、人と関わることが好きだという鈴木さんは、農業を通じて地域とのつながりも広げたいと話します。子どもたちに農業の魅力を伝えることや、地元飲食店との連携など、新たな仕掛けも描いています。JAにも、部会活動やイベントを通じて、地域と農業を結び場づくりを一緒に進めていくことを期待しています。

より効率的な経営へ、 判断を重ねる



バラ部会 山本一徳さん 就農12年目

- 経営の効率化を検討
- バラの産地として必要なこと
- 農家に寄り添った姿勢で



山本さんは現在、約80アールでバラを栽培しています。課題の一つが、点在するハウスの管理です。ハウス間の移動に時間を要し、栽培管理の効率が上がりにくいことから、現在の経営規模をこのまま続けることが最適なのか、栽培管理の効率や単収、品質

などを踏まえて判断していく必要があると考えています。バラには今後も需要がある一方、全国有数の産地として選ばれ続けるためには、市場や花店が求める品種のニーズに 대응することが重要だと話します。JAには、バラをより高く販売することや市場情報の継続的な提供を期待しています。また、農家から出る新しい取り組みや要望には、一緒に実現の可能性を探るなど、寄り添った姿勢で向き合っていると話します。

青年部とJA

仲間と学び、 地域とつながる

若手農家が一人で課題に向き合うのではなく、仲間と学び、つながる場として活動しているのが青年部です。情報交換や研修、地域との交流などを通じて、同世代の農業者同士が刺激を受け合いながら、地域農業のこれからを考えています。

JAもまた、栽培技術や経営に関する支援、若手農家と地域をつなぐ機会づくりなどを通じて、その取り組みを支えています。農業を続けていくためには、個々の努力だけでなく、仲間や地域、JAとの関わりも大切な力になります。



JAひまわり青年部 令和7年度活動

- 1 研修・交流・親睦事業（R8年2月）
 - ・ 生成AIに関する意見交換会兼職員交流会 など
- 2 会議等（R7年7月）
 - ・ 総会
 - ・ JA役員意見交換会
- 3 愛知県農協青年組織協議会への参加（R7年8月）
 - ・ 県青協 発表大会

『令和8年度 役員と活動』は
➡P15「To the Future」にてご紹介。

農家の未来が、 地域の未来になる

就農3年目、5年目、12年目。立っている場所は違っても、3人はそれぞれの立場で、これからも農業を続けていくために何が必要かを考えていました。安定した経営基盤、働く環境づくり、地域とのつながり、そして持続可能な経営の形。農家の未来は、一つではありません。その一つひとつの挑戦が、地域農業の未来につながっていくはずです。若手農家の声に耳を傾けることは、このまちの農業のこれからを考えることでもあります。

9/2

LA研修会と意見交換会を開催 グループワークを通じて LA同士が意見を交わす

当JAは、総合集出荷センター管理棟交流スペース集で、LA（ライフアドバイザー）26人全員が参加する研修会と意見交換会を開催しました。研修会ではグループに分かれ、付箋を使ってアイデアを出し合いながら意見を交わしました。意見交換会では、女性部グループ「さんさん小町」が手作りの豚汁を振る舞い、暑い夏も活動するLAをねぎらうとともに、交流を深めました。



▲付箋を使ってアイデアを出し合い、意見を交わすLA



▲地域農業の将来像について意見を交わす生産者とJA職員

9/4

次期地域営農ビジョンの策定に向け協議 生産者とJAが 産地の将来像を共に描く

当JAは第1回地域営農ビジョン促進協議会を開催しました。各生産部会の役員とJA職員が参加し、生産者の減少や高齢化、生産コストの上昇など、地域農業が抱える課題を共有しました。参加者はグループに分かれ、産地の目指す姿や現状とのギャップ、実現に向けた具体策について意見を交わしました。今後は各部会で協議を重ね、12月上旬から中旬にかけて次期3カ年の地域営農ビジョン案をまとめる予定です。

9/4

八幡・こうごゆ支店で支店まつりを開催 園児の太鼓演奏や 野菜の直売で地域住民と交流

八幡支店とこうごゆ支店は9月4日、昨年に引き続き「支店まつり」を開催しました。会場では、園児による太鼓演奏が披露され、訪れた保護者や地域住民から大きな拍手が送られました。また、野菜の直売や共済相談なども行われ、多くの家族連れでにぎわいました。両支店は、支店での活動を通じて若年層との接点をつくり、地域住民とのつながりを深めました。



▲野菜の直売などでにぎわう八幡・こうごゆ支店の支店まつり

9/13・20

JAひまわりカップサッカー大会を開催 小学生が優勝を目指して 熱戦を繰り広げる

当JAは9月13日と20日、豊川サッカー場で「JAひまわりカップサッカー大会」を開催しました。大会にはU-12（12歳以下）の部とU-11（11歳以下）の部に計17チームが出場し、優勝を目指して熱戦を繰り広げました。20日に行われた決勝では、U-12の部で「小坂井FC-A」、U-11の部で「豊川中部A」が優勝しました。大会はスポーツデポ豊川店の協賛とJA共済連愛知の助成を受けて開催しました。



▲ゴールを目指して熱戦を繰り広げる選手たち



▲高温対策について講師の説明を聞くバラ部会の生産者ら

9/18

バラ部会が高温対策勉強会を開催 栽培環境に応じた 暑さ対策を学ぶ

バラ部会は、昨年に引き続き、高温対策勉強会を開催しました。講師は午前中に生産者3戸のハウスを訪れ、栽培環境や設備を確認した上で講義を行いました。講義では、光合成と呼吸の関係や日射量、葉の温度について説明したほか、遮光カーテンやミストを活用した高温対策を紹介しました。参加者は、それぞれのハウスの環境に応じた栽培管理について理解を深めました。

9/23

やすらぎ会館三蔵子でマルシェを開催 多彩な催しを通じて 地域住民と交流を深める

葬祭課は、やすらぎ会館三蔵子で「やすらぎマルシェ三蔵子」を開催しました。当日は、家族葬専用ホールの内覧会を開き、実際の祭壇を展示して家族葬プランなどを紹介しました。会場では、産直野菜やコロッケ、お弁当を販売したほか、記念撮影会やスタンプラリーによるガラガラ抽選会も実施し、多くの来場者でにぎわいました。来場者はさまざまな催しを楽しみながら、やすらぎ会館への理解を深めました。



▲展示された祭壇を見学し、職員から説明を受ける来場者

試行錯誤を重ねたシイタケ栽培。
直接届く声を励みに、さらに成長



vol.47

農畜産物を生産・出荷している方を
ご紹介します

産直出荷者協議会所属

吉田農園

(出荷者名 吉田悟さん)

異業種から農業へ参入

吉田農園は、運送会社の吉田商事が運営する農園です。運送業が抱える課題への対応や、従業員の副業にもつながる新たな事業として農業分野への参入を決め、2023年にシイタケ栽培を始めました。現在は営業所の敷地内に設置した3基のコンテナで菌床シイタケを栽培し、2024年からグリーンセンターや産直ひろばへ出荷していきます。

栽培で重要になるのが温度管理です。肉厚なシイタケに育てるためには温度を低く保つなど、生育状況を確認しながら管理しています。一方、収穫量にはばらつきがあり、多く収穫できる時



店舗とともに

グリーンセンター宮
地宗 誉仁さん

グリーンセンター宮（産直店舗）は どんなお店ですか？

吉田農園さん：お客様の声がスムーズに聞けるのが産直店舗の特徴です。

地宗さん：出荷者にも、お客様にも愛されている店舗だと思います。

産直出荷のいいところはどんなところですか？

吉田農園さん：お客様に喜んでもらおうと出荷をがんばれることがいいところだと思います。

地宗さん：季節の野菜などを新鮮な状態で買えるところがいいところだと思います。

吉田農園さんが所属している 産直出荷者協議会

部会員数 1,193名

グリーンセンターや産直ひろばに出荷する農家が所属しています。出荷者に対し、栽培日誌の提出を義務付け、安全安心な農畜産物の出荷に努めています。また、出荷者の栽培サポートの動画提供や講習会を開催し、品質の向上に繋がっています。



シイタケには食物繊維やカリウム、ビタミンDなどが含まれています。毎日の料理に取り入れやすい食材です。

直接届く声を励みに

もあれば、思うように収穫できない時もあります。現在は、収穫量を安定させることを目標に、栽培方法の改善に取り組んでいます。

吉田農園のシイタケは、傘だけでなく軸も肉厚なのが特徴です。「軸も切り落とさず、丸ごと食べてもらいたい」と話します。おすすめはシンプルに焼いて、バター醤油などで味わう食べ方。シイタケを粉末にした「しいたけパウダー」も販売し、みそ汁やチャーハン、肉料理など、さまざまな料理に活用できます。

直売所へ出荷する中では、利用者から直接感想を聞いたリ、目の前で商品を手に取ってもらったりすることもあります。「『ほいちゃん』のキノコ、おいしいね」と言ってもらえるとうれしいです。何も分らないところから始め、試行錯誤を続けてきました。これからは出荷量を安定させ、コンテナも1、2基増やしていきたいです」と話してくれました。

※ラベルのキャラクター名

材 料 (2人分)

カブ…………… 1個
カリフラワー…………… 4、5房
タマネギ…………… 1/4個
パセリ…………… 適量
ベーコン…………… 2枚
バター…………… 15g
みそ(米みそ)…………… 大さじ1と1/2
牛乳…………… 150ml
片栗粉…………… 大さじ1
塩…………… 少々
こしょう…………… 適量

作り方

- ①カブは葉を1cmほど残し、4等分に切る。皮をむき、水に漬けて、つまようじなどを使って葉の根元の汚れをしっかりと落とす。
- ②カリフラワーは小房に分ける。タマネギは繊維に逆らって薄切りにする。パセリはざく切りに、ベーコンは幅3cmに切る。
- ③フライパンにバターを熱し、タマネギとベーコンを炒める。
- ④①のカリフラワーとカブ、水200ml(材料外)、みそを入れて煮る。カブが軟らかくなったら牛乳を入れてさらに3分ほど煮る。
- ⑤片栗粉を水に溶いて加え、塩で味を調える。皿に盛り、パセリ、こしょうで仕上げて出来上がり。

カブとカリフラワーの みそシチュー



冬の食卓を彩る白い野菜
ほのかな甘みと豊かな栄養

今月の食材!
カリフラワー



カリフラワーは、白く丸みを帯びた姿と、ほのかな甘みが特徴のアブラナ科の野菜です。ブロッコリーの仲間、私たちが普段食べているのは「花蕾(からい)」と呼ばれる部分です。

カリフラワーには、皮膚や粘膜の健康維持を助けるビタミンCが含まれています。ビタミンCは水に溶けやすい性質がありますが、カリフラワーは加熱後も比較的多く残るのが特徴です。ゆでるだけでなく、蒸したり電子レンジで加熱したりすることで、水に溶け出

す栄養を抑えることができます。また、スープやシチューなどにすれば、煮汁に溶け出した栄養も一緒に取ることができます。

カリフラワーは、ゆでたり蒸したりするほか、炒め物や揚げ物など、さまざまな料理で楽しめます。茎や葉もやわらかい部分は食べることができ、無駄なく活用できるのも魅力の一つです。当JAの直売所でも、地元生産者が育てた旬の野菜を取りそろえています。季節の味わいを、ぜひ毎日の食卓でお楽しみください。

アンケートで 寄せられた声

- 農作業をすると腰が痛くなる
- 足腰への負担が気になる
- いつまでも元気に体を動かしたい

これまで2号にわたり、J A ひまわりLINE公式アカウントで実施した「暮らしの困りごと」に関するアンケートをもとに、暑さ対策やハチ対策を紹介してきました。

今月はその最終回として、腰痛や足腰の負担、健康管理に関する声を取り上げます。

農作業や庭仕事では、草取りや収穫で前かがみになったり、重い物を運んだりすることが多く、知らず知らずのうちに腰や足へ負担がかかります。いつまでも元気に作業を続けるために、毎日の作業で意識したいポイントを紹介します。

健康や経済、先進技術などなど… 暮らしに役立つ知識をピックアップ

暮らしサブリ ぷらす

supplement of a living plus

その姿勢、腰に負担かも？ 農作業で足腰をいたわるコツ

▼前かがみを続けない

草取りや収穫などでは、前かがみや中腰の姿勢が長くなりがちです。同じ姿勢を続けると、腰やひざへの負担が大きくなります。ときどき立ち上がって体を伸ばし、姿勢を変えながら作業しましょう。作業する場所に体を近づけることも、負担を減らすポイントです。

▼重い物は体に近づけて持つ

肥料や収穫物などを持ち上げるときは、腰だけを曲げて持つのではなく、荷物に体を近づけ、ひざを曲げて持ち上げましょう。持ったまま体をひねる動きは、腰への負担を大きくします。無理をせず、台車などの道具を使うことも大切です。

▼こまめに休憩する

夢中になって作業を続けていると、足腰の疲れがたまりやすくなります。時間を決めて小休止を取り、腰や足を軽く動かして体をほぐしましょう。痛みや違和感があるときは無理をせず、作業を切り上げることも大切です。症状が続く場合は、早めに医療機関へ相談しましょう。

① 同じ姿勢を続けず、ときどき体を伸ばしましょう



② 荷物は体に近づけて持ち、腰だけで持ち上げない



③ こまめな休憩と軽い体ほぐしで負担をためない





野菜づくりから広がる交流 地域に開かれた市民農園

ep. 47

篠東市民農園 丸山さん

豊川市篠東町にある「篠東市民農園」では、約60区画の畑で利用者が思い思いに野菜づくりを楽しんでいます。農園を開設し、管理しているのが丸山さんです。

もともと別の形で農地を貸していた丸山さんは、近くにあった市民小菜園の閉鎖をきっかけに、地域の人に広く農地を活用してもらおうと、2022年に市民農園を開設しました。利用者が野菜づくりを楽しめるよう、水利や区画を管理するほか、堆肥や管理機なども用意しています。

現在は全ての区画が利用され、外国にルーツを持つ人も6組ほど利用しています。育てる野菜や栽

家庭菜園やガーデニングを
楽しんでいる方をご紹介します



-Gardening-
ガーデニング

培方法にもそれぞれの文化や個性が表れ、丸山さん自身が参考にすることもあるといいます。また、近くの区画を利用する人同士で会話が生まれ、「苗が余ったから」と譲り合うこともあります。初めは数種類の野菜を育てていた人が、慣れてくると区画を細かく分け、さまざまな野菜に挑戦する姿も見られるようになりました。

丸山さんは「多くの人が自分で野菜を作ることを楽しんでくれていると思います。地域の人に楽しんでもらえることが、自分の喜びにもなっています」と笑顔を見せられました。

篠東市民農園

施設概要

- ・敷地面積 2,348㎡
- ・区画面積 30㎡、22.5㎡
- ・地区画数 60区画
- 30㎡:14区画(No.1~9、56~60)
- 22.5㎡:46区画(No.10~55)

- 給水栓の水は数まないでください。
- 敷地から外へ出る時は必ず一旦停止をしてください。
- 市民農園関係者以外の方の利用はご遠慮ください。
- 利用申込などは下記連絡先までお気軽にお問い合わせください。

管理者 丸山

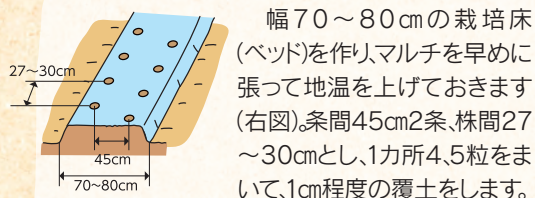
1	10	18	26	33	40	48	56
2	11	19	27	34	41	49	57
3	12	20	28	35	42	50	
4	13	21	29	36	43	51	
5	14	22	30	37	44	52	58
6	15	23	31	38	45	53	59
7	16	24	32	39	46	54	60
8	17	25			47	55	
9							

プロが教える
ワンポイント
アドバイス!

家庭菜園

Home vegetable garden 園芸研究家 成松次郎

5 [畝立てと種まき]

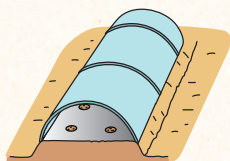


6 [間引き]

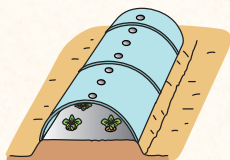
1回目の間引きは本葉1、2枚までに2、3本を残し、2回目は本葉4、5枚の頃にしっかりした株を1本残します。

7 [トンネルの換気方法]

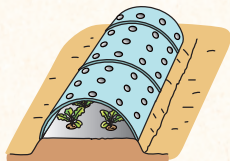
日差しが強くなるとトンネル内は30度を超えるため、換気を行いましょう。穴開きフィルムを使うと換気の手間が省けます。穴なしフィルムでは裾を気温に応じて開閉するか、フィルム上部に穴を開け、次第に穴を増やして換気量を大きくします(右図)。3、4月はさらに気温が上がるため、葉が茂ってトンネル内が窮屈になる頃にはトンネルを剥ぎましょう。



種まき～発芽



生育初期～中期

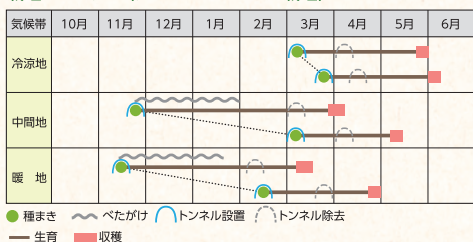


生育中期～後期

8 [収穫]

首の太さが8cmくらい、重さ1kgぐらゐが収穫適期です。なお、とう立ちが進むと芯が堅くなりますが、花茎(とうの長さ)が10cm程度なら問題ありません。

栽培カレンダー(ダイコンのトンネル栽培)



1 品種

「天宝」「春の守(かみ)」(サカタのタネ)、「春神楽」(タキイ種苗)はとう立ちが遅く、低温でもよく太る肌のきれいな品種です。

2 保温資材

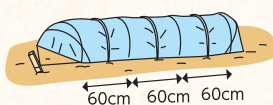
トンネルフィルムは、農ビ(農業用ビニール)は保温性が良いのですが、農PO(農業用ポリオレフィンフィルム)は軽く、べたつかないなどの理由から農POが多く使われています。穴なしと穴開きがあり、穴開きタイプは保温効果がやや劣るものの、換気作業が省力化され、穴から雨水が入るため、使い勝手が良いです。

べた掛け資材の不織布は保温効果や霜よけ効果があり、透光性も高いので、トンネル内の野菜上に直接かけて保温効果を高めめます。

マルチを使うと地温が上がり、生育促進効果は一層高まります。透明フィルムは地温上昇効果が高い資材ですが、雑草防止には黒を選びましょう。

3 トンネルの作り方

支柱の長さは、床幅70~80cmでは、差し込む長さを加え、200cm程度の長さが必要です。トンネルフィルムは、支柱の長さと同じ程度の幅を使い、トンネルの土台となる支柱を約60cm間隔に挿し、フィルムの裾は土で埋め、フィルムの上に押さえる支柱を差し込むなどして保温と耐風性を高めます(下図)。



4 [畑の準備]

種まきの2週間前に1平方m当たり苦土石灰100gをまいて畑を深く耕して、土を細かく碎きます。1週間前に化成肥料(NPK各成分10%)150g程度と完熟堆肥1、2kgを施用します。

「春ダイコンのトンネル栽培」 とう立ちの遅い品種を選び、適切な保温を

トンネル栽培では、晴天日には気温が外気より高く、日中の気温を生育に適切な温度(15~25度)に少しでも長く保つことができます。さらに、20度程度の高温はダイコンのとう立ちを打ち消す働き(脱春化作用)があります。このように、トンネルとマルチによる保温は生育促進と、とう立ちを回避する効果があります。

SDGsな女性部



女性部のできごとをお伝えします

タオルを使ったストレッチを体験 楽しく体を動かし健康づくり

9月28日、本店で女性リーダー会議を開き、48人の女性リーダーが参加しました。会議では、今年度の女性部活動に関する報告や書類の説明などを行いました。『家の光』の読書会では、女性部員が講師となり、「タオルを使ったストレッチ」を実践。参加者は音楽に合わせてタオルを使いながら体を動かし、笑顔でストレッチを楽しみました。身近なタオルを使って楽しく体を動かし、心も体もリフレッシュ。女性部員同士の交流を深めながら、健康づくりにもつながる充実した時間となりました。



モルックと演奏で敬老をお祝い 笑顔と交流が広がるサロン活動

ひまわりたすけあいの会は9月のサロン活動で、モルックと敬老会を行いました。参加者は、フィンランド発祥のスポーツ「モルック」に挑戦し、体を動かしながら点数を競って楽しみました。その後、敬老のお祝いとして、スタッフ会員がスコップ三味線を披露。曲のリズムに合わせてスコップの側面をヘラでたたいて演奏すると、参加者も手拍子をしたり、曲を口ずさんだりしながら楽しいひとときを過ごしました。日頃の感謝を伝えるとともに、参加者とスタッフが一緒に笑顔で交流を深めるサロン活動となりました。



サロンスタッフを募集しています！

高齢者ボランティアに興味のある方、小物作りや運動が得意な方、ぜひ事務局までご連絡ください。

〈お問い合わせ先〉

組織活性課 ☎85・3195





JAひまわり青年部は、地域の若手農業者26人で構成され、農業経営に役立つ知識の習得や、部員同士の交流を深めるため、さまざまな活動に取り組んでいます。青年部では、研修会や視察、他のJAの青年組織との交流などを

通じて、農業への理解を深め、互いの経験や考えを共有しています。また、JA職員との合同勉強会では、生成AIの農業への活用など、新たな知識を学ぶ機会も設けています。JAの役員との意見交換

会では、青年部の活動や情報発信、地域農業のこれらについて意見を交わしています。

青年部



JAひまわりの部署・職員・組合員組織を紹介します

未来へ

To the future



部長
長坂 満さん



副部長
美崎 翔さん



会計
平野 巧さん



監事
中村 典生さん

JAひまわり青年部 令和8年度の活動について

自分たちで
つくる

「やってみたい」と思える活動を自分たちで考え、若手農業者が参加したくなる青年部をつくっていきます。

地域と
つながる

イベントや交流の機会を通じて、生産者の顔や農業の魅力を地域の皆さんへ伝えていきます。

ともに学ぶ

部員同士やJA職員との交流を深め、農業経営に役立つ知識や情報を学び合います。

声を届ける

青年農業者の思いや現場の課題をJAや関係組織へ届け、地域農業の未来につなげていきます。



「わい！わい！花育教室」 参加者募集のお知らせ

豊川市で作られる花の魅力を知る講座です。身近な花の飾り方教室、フラワーアレンジメント教室を行います。

〈日程〉12月6日（日）9：30～11：30

〈対象〉小学1年から6年生までのお子さまとその保護者

〈会場〉総合集出荷センター（豊川市三上町西河原100）

〈参加費〉4,000円（保護者と小学生各1名の場合）
※小学生のお子さまおひとり追加につき
+1,000円です。

〈申込方法〉下記二次元コードよりお申し込みをお願いします。

〈申込期間〉11月16日（月）12：00

※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

〈お問合せ先〉組織活性課 ☎85・3195



グリーンセンター・産直ひろば・Aコープ小坂井店 11月休業日のお知らせ

グリーンセンター豊川・一宮・音羽 無 休

産直ひろば御津 毎週日曜日

Aコープ小坂井店 無 休



グリーンセンター・産直ひろば・Aコープ イベント情報

グリーンセンター全店・Aコープ小坂井店・産直ひろば御津 ▶秋の収穫祭 11月22日（日）

産直ひろば御津のみ 11月21日（土）開催

今年も秋の収穫祭を開催します。実りの秋を迎え、様々な秋冬野菜が盛りだくさんです。ご購入金額1,000円ごとに1回引けるお楽しみ抽選会など各店舗でイベントが行われます。ぜひ、お越しください。

産直ひろば御津は日曜日定休のため、11月21日（土）に開催します。



農機センター 11月休業日のお知らせ

農機センター ☎85・2555
水曜日・日曜日・祝日

農機センター西部出張所 ☎76・2200
水曜日・日曜日・祝日



『家の光』増刊号「2027年家の光家計簿」の 取り扱いについて

日頃は、家の光図書をご愛読いただきましてありがとうございます。

昨年に引き続き「家の光家計簿」は、家の光12月号の付録として同封されません。「家の光家計簿」は増刊号としての販売となり、別途申し込みが必要となります。注文する場合は、「家の光図書購読（新規・解約・変更）申込書」を令和9年1月8日（金）までにお近くのJ Aひまわり各支店窓口にてお手続きいただきますようお願い申し上げます。

〈お問合せ先〉組織活性課 ☎85・3195



不要農業用資材の 有料回収について

不要農業用資材の有料回収を下記の日程で行います。回収にあたっては事前の申し込みが必要となります。

申込用紙は、農機センター、農機センター西部出張所、総合集出荷センター、営農資材センター、営農資材センター東部出張所、西部営農センター購買窓口、各事業所に設置します。

〈回収場所・日時〉

回収場所	回収日時	回収物の種類
御津ライスセンター （御津町上佐脇西区117-1）	12月8日（火） 9：00～11：00	廃ビニール・廃ポリ
	12月8日（火） 13：00～15：00	廃プラ

〈事前説明会〉

日時：11月20日（金）18：00～

場所：西部営農センター2階大会議室（御津町上佐脇西区75）

〈お問合せ先〉 農機センター ☎85・2555

農機センター西部出張所 ☎76・2200



当J A広報誌の 資源リサイクルについて

いつも当J A広報誌『Wai!Wai!Himawari』をご愛読頂きありがとうございます。

組合員の方から「この冊子を資源回収に出すときにホチキスの針が気になる。今は外しているが、綴じないようにできないか」といったご意見が寄せられました。

当広報誌の製本用に使用しているホチキスは、再生紙の製造過程である「溶解工程」で沈殿するため、資源回収時に外す必要がありませんのでご了承ください。



各種相談のご案内

遺言・相続相談会（事前予約が必要です）

11月20日(金) | 13:00～17:00(1日4組・1組50分間)
本店 組織活性課 ☎85・3195
12月18日(金)(受付開始11月2日(月)9:00～)

年金相談会（事前予約が必要です）

11月4日(水) | 9:00～16:00
11月14日(土) | 本店 金融課 ☎85・3173
12月2日(水)
12月12日(土)

土曜共済相談会

11月14日(土) | 9:00～16:00
本店 共済課 ☎85・3590

税務相談会(奇数月25日)(事前予約が必要です)

11月25日(水) | 14:00～17:00(1日3組・1組50分間)
本店 組織活性課 ☎85・3195
一宮支店 ☎93・3535
小坂井支店 ☎78・3141
御津支店 ☎76・2131

土曜・日曜ローン相談会

毎週土曜・日曜日 | 9:00～17:00
ローンセンター ☎56・7770

土地売却相談・土地活用相談・ 相続税試算相談

不動産相談センター ☎89・6211
随時開催しています。
※ご希望の方は事前にお問合せください

介護相談

介護福祉センター ☎83・8580
介護に関することはお気軽にご相談ください。
※介護サービスを利用していない方が対象です

葬儀相談

やすらぎ会館三蔵子 葬祭課 ☎85・0900
相談受付10:00～15:00
何でもご相談ください。

LPガス相談

燃料課 ☎89・5558

▲各種相談は随時受付しています。
事前にお電話いただくと受付がスムーズです。



LINE公式アカウントにて JAひまわりの情報を 配信しています！

JAひまわりでは、LINE公式アカウントにて毎月1日と15日に、JAひまわりに関する情報をお届けしています。イベント情報や旬の農産物情報のほか、LINE公式アカウント限定の情報も配信しています。

ぜひ「友だち追加」をして、配信をお楽しみください。



JAひまわり
LINE公式アカウント



Instagramにて グリーンセンターの情報を 発信しています！

JAひまわりでは、Instagramにて直売所の情報などを発信しています。各店舗に並ぶ旬な農産物をご確認いただけます。ぜひ、フォローをお願いします。



グリーンセンター・産直ひろば
Instagram



水曜日がお得！

わい！わい！ポイント制度キャンペーンについて



ポイント3倍デー

実施店舗 グリーンセンター豊川・一宮・音羽
産直ひろば御津
Aコープ小坂井店
★水曜日が定休日の場合は、その前日の火曜日



お詫びと訂正

広報誌「Wai! Wai! Himawari」10月号の掲示板「令和8年 熊本地震支援募金を寄付」の記事において、募金額の表記に誤りがありました。

〈誤〉403,340万円
〈正〉403,340円

読者の皆さまにお詫びして、訂正いたします。

MEMBER'S VOICE

お便り紹介



貴重なご意見・ご要望をありがとうございます

皆様のご要望に応えられるよう、より一層努めてまいります

▼農-Farmers-で紹介されているス
プレーマム農家の牧野さんの「農業
は愛情」の心構えは最高です。なん
の仕事においても愛情をもってすれ
ば、良い仕上がりになります。

(90代 金屋橋町)

▼農産物の価格設定はなかなか難し
いと思います。生産者のことを考え
ると、安易に安い方がいいとは思え
ないです。

(60代 光明町)

▼世界情勢による生産コストの増加
がよくわかりました。生産者も大
変。私もグリーンセンターなどで買
いたいと思います。

(60代 市田町)

▼なぜ生産コストが増加しているの
かがよくわかりました。安さだけを
求めがちなのですが、持続可能な
農業を支えていく必要があると感じ
ました。

(40代 八幡町)

▼園-Gardening-で紹介されている
温室でのパイナップル栽培にびっく
りしました。立派なパイナップルで
すね。マンゴーにも挑戦ということ
で、実がなるのが楽しみです。

(70代 小田淵町)

「JAに対するご意見・ご要望を」
多くの組合員・利用者の皆様からの「意見・ご提
案をお待ちしています。なお、次ページの専用はが
き以外(官製はがき、封書)での投稿も受け付けて
います(その場合の郵送料は応募者負担です)。

グリーンセンターや産直ひろばで販売する農産物を使用する「地域農業応援店」を紹介します

〈地域農業応援店〉

田舎料理
吉野

豊川市門前町14-1
☎090・2944・2886

【営業時間】
昼11:00~15:00 不定休
夜18:00~23:00
(夜営業は外飲みスタイル)
水曜日から土曜日まで

※その他の曜日についてはお電
話にてお問い合わせください。



焼きいなり うなぎ

定番メニューの「焼きいなり」にう
なぎが入った新メニューです。香ばしく焼
きあげた油揚げとタレが絡んだうなぎの
相性が抜群です。
テイクアウトでもお楽しみいただけます。
豊川稲荷すぐ近くですので、参拝に訪れ
た際にはぜひ、お立ち寄りください。



まるで実家に帰っ
てきたかのような雰
囲気を味わえると
お客様から言ってい
ただけのような温かい
お店です。地元豊川
市の昔ながらの料理
をお楽しみいただ
けます。豊川稲荷に参拝に訪れた際などお気軽にお立
ち寄りください。

「地域農業応援店」随時募集中 詳しくは企画課までお問い合わせください。☎85・3171

事業データ

販売品販売高	36億 145万円
購入品供給高	23億4,397万円
貯金・定期積金	3,335億609万円
貸出金	784億 693万円
長期共済保有高	5,749億1,445万円
年金共済保有高	72億 992万円
組合員	正組合員 6,640人 准組合員 29,526人 令和8年8月31日現在

理事会決議事項

■と き 令和8年9月29日(火)

■決議事項

- 「当組合における取引のリスク評価書」の定例改定について
- 令和8年度仮決算基準について
- 常勤理事の他団体理事等への就任について
- ハラスメント防止規程の一部改定について

以上議案は承認されました。



車で事故を起こしてしまったときは

共済課 ☎85・3175(直通)

8:30~17:00(土日及び祝日以外)

夜間・休日の場合は ☎0120・258931

(365日24時間対応)



キャッシュカード・ローンカードを紛失・盗難されたときは

金融課 ☎85・3173 または 各支店窓口

9:00~17:00(土日及び祝日以外)

JAの安心コール ☎0120・089286

(365日24時間対応)



プロパンガス・ガス器具のご用命は

燃料課 ☎89・5558 (365日24時間対応)



会館葬など各種葬儀のご相談は

葬祭課 ☎85・0900 (365日24時間対応)

日曜日は無料相談日(要予約)



アパート物件情報・不動産売買のご用命は

資産管理課 ☎89・6211

Wai!Wai! Himawari 2026.11月号

●今回の特集に対するご意見をご記入下さい。

●JAひまわりに対するご意見・ご要望などをお書き下さい。

グレー線部とのりで貼り合わせて下さい

住 所

〒
豊川市

お名前

年齢

組合員区分

○を付けて下さい

正組合員

・

准組合員

歳

電話番号

() -

ご協力ありがとうございました

個人情報保護のため、キリトリ線に沿って切り取りのり付けしてご投函下さい。

皆様から寄せられたご意見等は、毎月の定例会議などにおいて共有化を図り、迅速な対応や改善を心掛け、事業運営や組織活動に反映できるよう努めて参ります。

また、投稿用はがきにより取得した個人情報については、商品発送、ご意見等における対応以外の目的には使用致しません。

豊川市周辺のお出かけスポットをまりくんが毎月ご紹介します

お出かけまりくん



赤く光っていたり、
電気が付いていたりする
ハウスもあって、
おもしろいよね!

今月のお出かけ先

豊川市院之子町大畑

とよかわしいんのこちょうおおばた

豊川市院之子町大畑

11月8日は、とよかわ大葉「いい大葉の日」!今回は、大葉にちなんで院之子町大畑へお出かけしたよ。

豊川市は、大葉をはじめとした施設園芸が盛んな地域。温暖な気候を生かして、さまざまな農産物が栽培されているんだ。今年も11月8日の「いい大葉の日」には、「とよかわ大葉フェス」が開催されるよ!

大葉を使ったグルメなど、大葉がいっぱいのイベントを楽しんでね♪



だんだんと景色が移ろいできたね。

Wai!Wai! Himawari

組合員とJAのコミュニティ誌 わい!わい!ひまわり

2026
NOVEMBER
VOL.439

11

発行日: 2026年10月15日

発行者: ひまわり農業協同組合 総合企画部 企画課

〒442-8517 豊川市諏訪1丁目1番地 TEL 0533(85)3171

広報誌はホームページでも見られます

JAひまわりホームページ

<https://ja-himawari.com/>



JAひまわり
LINE公式アカウント



グリーンセンター・産直ひろば
Instagram



✂ キリトリ

✂ キリトリ

POSTCARD

料金受取人払郵便

豊川局承認

2047

差出有効期間
2027年
10月31日まで

4 4 2 8 7 9 0

豊川市諏訪1丁目1番地

ひまわり農業協同組合 総合企画部 企画課

「Wai!Wai! Himawari 11月号」係



PRESENT

JAひまわり産
『音羽米』5kgを
抽選で5名様へ
プレゼント!!



〈応募方法〉

裏面に住所・氏名・年齢・電話番号をご記入のうえご応募ください。また、JAひまわりに対するご意見、ご要望などお待ちしております。なお、当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

〈応募締切〉 2026年11月15日迄

※写真はイメージです

※山折りして記入いただいた個人情報をお隠し下さい。

山折り

✂ キリトリ

本誌は、JAひまわりの組合員向け広報誌(月刊)です。農業者以外の方でもJAの組合員になることができます。組合員への加入等については、当JAの本支店窓口にお問合せください。